

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。12月に「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」を公表した（詳細は2020年2月号参照）。

令和元砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：188万8000トン（前回見通しから8000トン減）

総供給量：184万8000トン（同7000トン増）

【加糖調製品】

消費量および供給量：51万7000トン（同9000トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：83万2000トン（同2000トン減）

表1 令和元砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		平成30砂糖年度 (実績)	令和元砂糖年度				合 計	
			10月～12月 (実績見込み)	1月～3月 (見通し)	4月～6月 (見通し)	7月～9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,835	488.6	427.0	465.9	468.5	1,850	
	含みつ糖	36	7.0	13.5	10.5	7.4	38	
	合 計	1,872	495.6	440.5	476.4	475.9	1,888	
供給量	国内産糖	分みつ糖	734	369.3	369.7	51.9	-	791
		含みつ糖	11	0.9	9.3	2.4	-	13
		小計	745	370.2	379.0	54.3	-	804
	輸入糖	分みつ糖	1,146	299.6	155.5	273.0	307.2	1,035
		含みつ糖	9	1.7	4.0	2.9	0.9	10
		小計	1,155	301.3	159.5	275.9	308.1	1,045
	合計	分みつ糖	1,880	668.9	525.2	324.9	307.2	1,826
		含みつ糖	20	2.6	13.3	5.3	0.9	22
		小計	1,900	671.5	538.5	330.2	308.1	1,848
期末在庫		332	479.1	577.1	430.9	263.1	263	

資料：農林水産省「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和元砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	平成30砂糖年度 (実績)	令和元砂糖年度				合 計
		10月～12月 (実績見込み)	1月～3月 (見通し)	4月～6月 (見通し)	7月～9月 (見通し)	
消費量	519	153.1	112.6	123.3	127.9	517
供給量	519	153.1	112.6	123.3	127.9	517

資料：農林水産省「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：改正糖価調整法（2018年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和元砂糖年度の消費量は、平成30砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和元砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成30砂糖年度 (実績)	令和元砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	824	183.2	190.4	245.3	212.9	832
供給量	824	183.2	190.4	245.3	212.9	832

資料：農林水産省「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

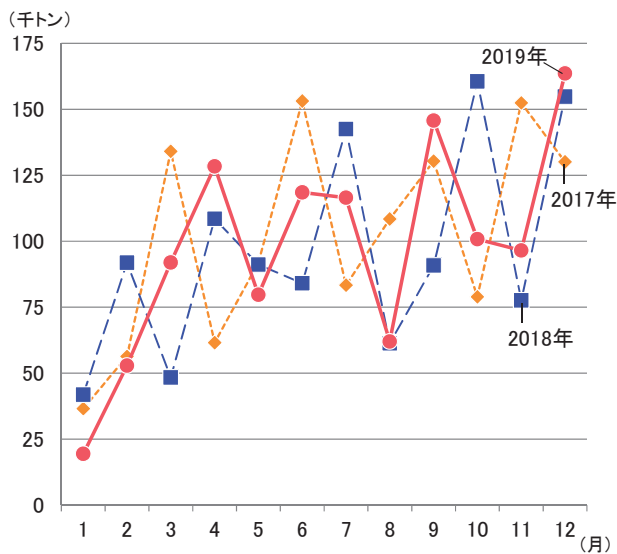
12月の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2019年12月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、16万3570トン（前年同月比5.7%増、前月比69.5%増）であった（図1）。

輸入先国は豪州およびタイで、国別の輸入量は次の通りであった（図2）。

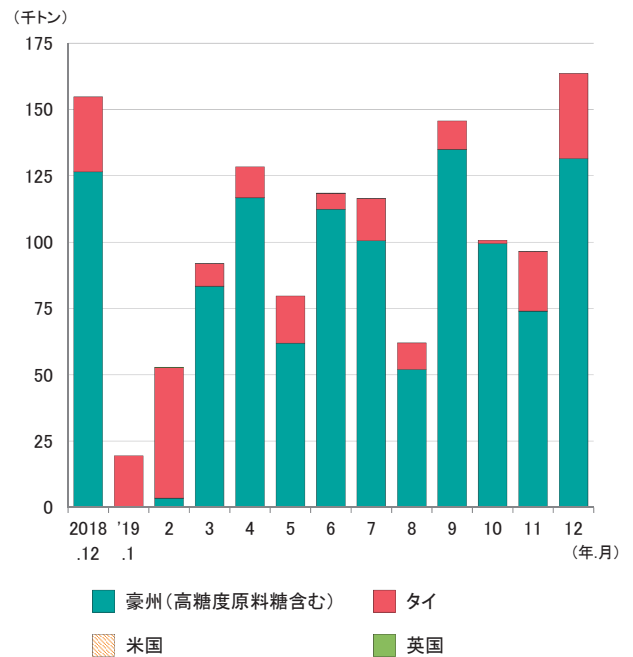
豪州 13万1552トン
（前年同月比4.0%増、前月比77.8%増）
タイ 3万2018トン
（同13.1%増、同42.2%増）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国別輸入量の推移



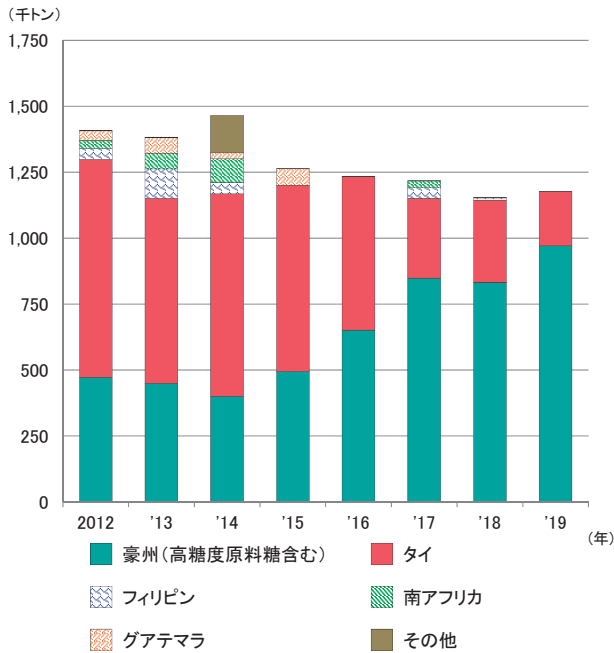
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

また、2019年1～12月の甘しや糖・分みつ糖および甘しや糖・その他の輸入量は、117万5842トン（前年比2.0%増）であった（図3）。

輸入先国は豪州、タイ、米国および英国の4カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

豪州 97万563トン
（前年比16.6%増）
タイ 20万5202トン
（同34.3%減）
米国 76トン
（同41.1%減）
英国 1トン
（前年輸入実績なし）

図3 粗糖の年別国別輸入量の推移



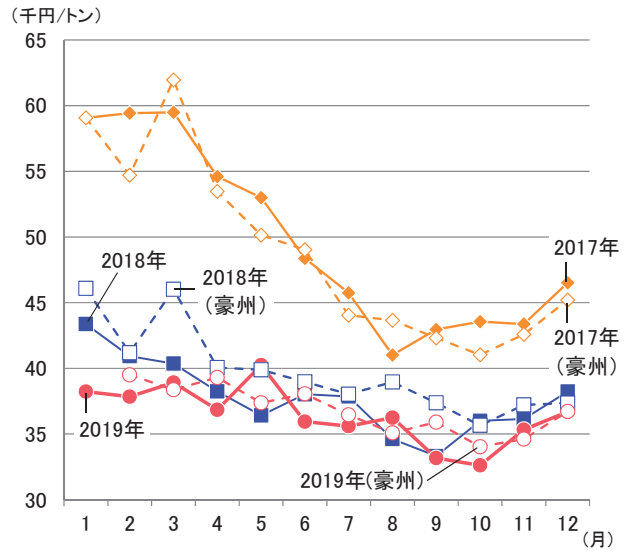
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2019年12月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、3万6703円（前年同月比4.0%安、前月比3.9%高）であった（図4）。

タイ 3万6703円
（前年同月比4.0%安、前月比4.0%高）

また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、3万6718円（前年同月比1.7%安、前月比6.1%高）であった。

図4 粗糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注1：実線はHSコード1701.14-110、点線は同1701.14-200（豪州のみ）。
注2：2019年1月は1701.14-200の豪州からの輸入実績なし。

【含みつ糖の輸入動向】

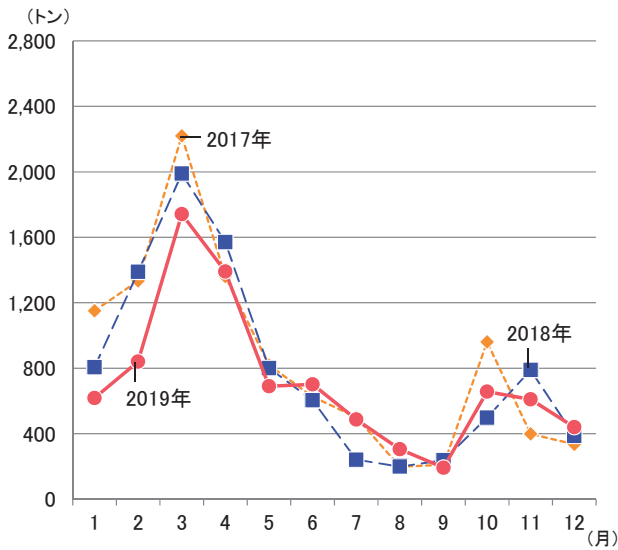
12月の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

財務省「貿易統計」によると、2019年12月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、440トン（前年同月比14.0%増、前月比27.9%減）であった（図5）。

輸入先国は中国、ボリビア、フィリピン、タイおよび台湾の5カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図6）。

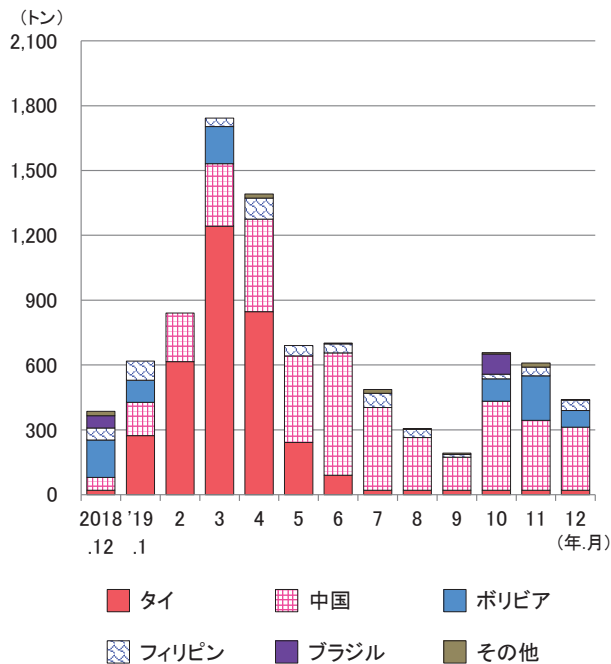
中国	292トン
	（前年同月比4.9倍、前月比9.6%減）
ボリビア	76トン
	（同56.1%減、同63.1%減）
フィリピン	49トン
	（同12.5%減、同19.5%増）
タイ	21トン
	（前年同月および前月ともに同じ）
台湾	2トン
	（前年同月輸入実績なし、前月1トン未満により不明）

図5 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含みつ糖の国別輸入量の推移



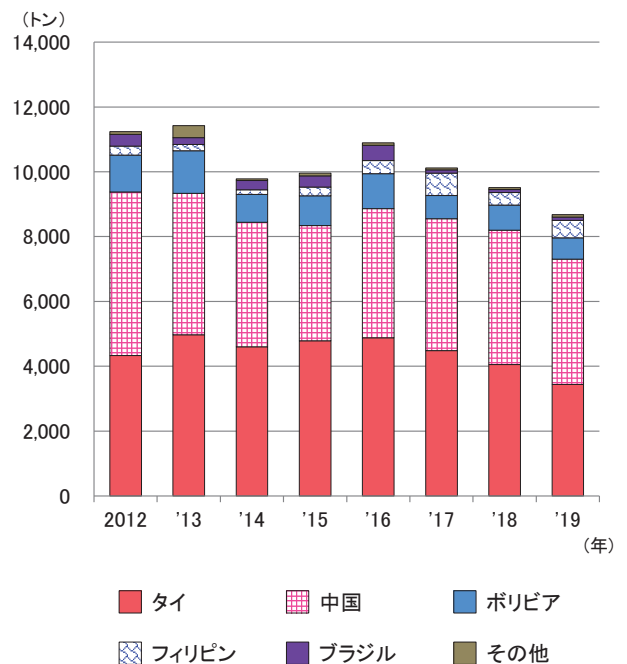
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

また、2019年1～12月の含みつ糖の輸入量は、8677トン（前年比8.8%減）であった（図7）。

輸入先国は中国、タイ、ポリビア、フィリピンおよびブラジルなど9カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

中国	3868トン
(前年比6.5%減)	
タイ	3436トン
(同15.3%減)	
ポリビア	660トン
(同15.1%減)	
フィリピン	541トン
(同40.5%増)	
ブラジル	94トン
(同1.1%減)	
台湾	40トン
(同40.0倍)	
コスタリカ	19トン
(同52.5%減)	
モーリシャス	19トン
(同5.0%減)	
コロンビア	1トン未満
(前年輸入実績なし)	

図7 含みつ糖の年別国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2019年12月の1トン当たりの輸入価格は、11万8709円（前年同月比18.6%安、前月比6.9%安）であった（図8）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国 11万4664円

（前年同月比9.8%安、前月比1.1%安）

ボリビア 13万2974円

（同3.8%安、同2.7%高）

フィリピン 12万6367円

（同6.7%安、同28.5%安）

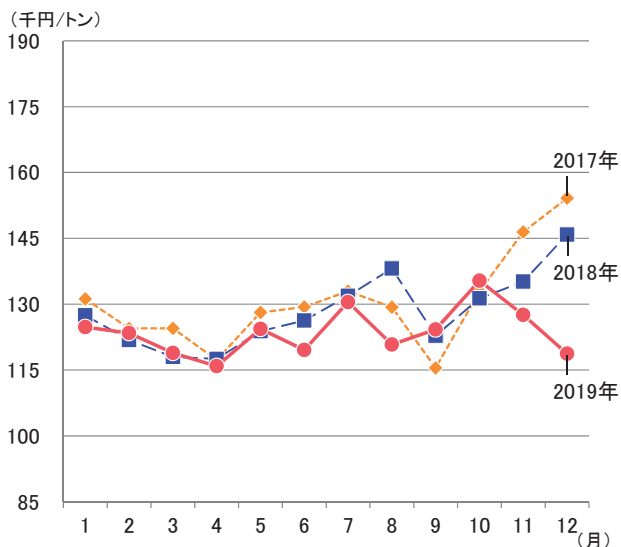
タイ 9万2190円

（同5.4%安、同0.1%安）

台湾 25万8000円

（前年同月輸入実績なし、前月1トン未満により不明）

図8 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

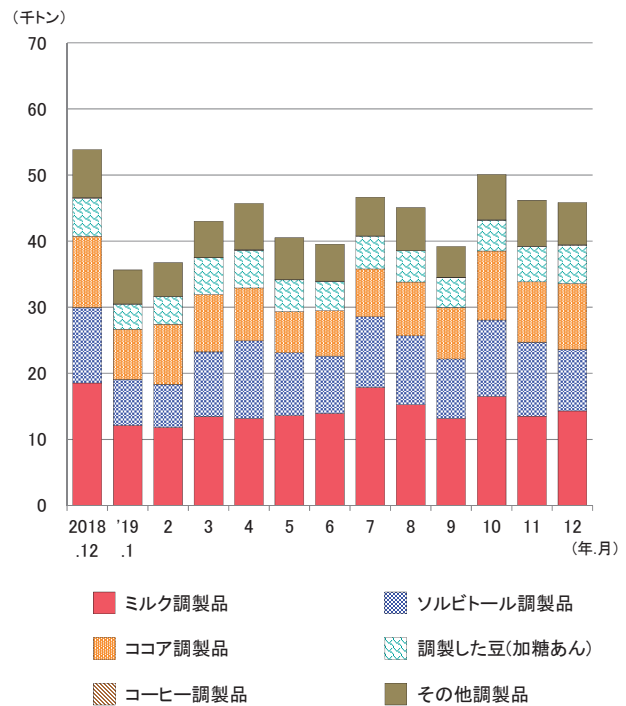
【加糖調製品の輸入動向】

12月の加糖調製品の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

財務省「貿易統計」によると、2019年12月の加糖調製品の輸入量は、4万5838トン（前年同月比14.9%減、前月比0.7%減）であった（図9）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図9 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

【2018年12月まで】

ココア調製品：1806.10-100、1806.20-111、1806.20-190、1806.32-211、1806.90-211

コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2101.20-246、2106.10-219、2106.90-251、2106.90-281、2106.90-282、2106.90-590

【2019年1月から】

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2101.20-246、2106.10-219、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.90-590

表4 加糖調製品 品目別輸入数量（12月）

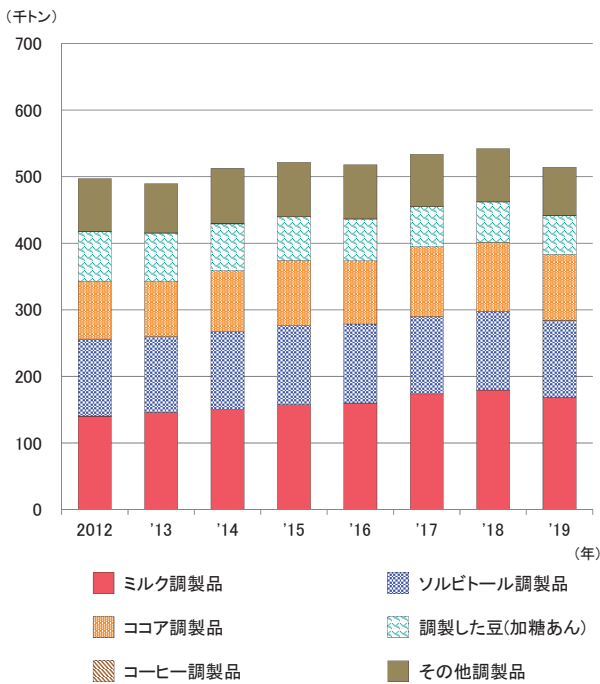
区分	輸入量 (トン)	前年同月比 (%)	前月比 (%)
ミルク調製品	14,299	▲ 22.9	5.8
ソルビトール調製品	9,256	▲ 18.9	▲ 17.3
ココア調製品	10,026	▲ 6.9	10.0
調製した豆（加糖あん）	5,821	0.6	8.1
コーヒー調製品	37	6.7	58.4
その他調製品	6,399	▲ 12.2	▲ 8.0
合計	45,838	▲ 14.9	▲ 0.7

資料：財務省「貿易統計」

また、2019年1～12月の加糖調製品の輸入量は、51万4156トン（前年比5.1%減）となった（図10）。

品目別の輸入量は、次の通りであった（表5）。

図10 加糖調製品の年別品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

【2018年12月まで】

ココア調製品：1806.10-100、1806.20-111、1806.20-190、1806.32-211、1806.90-211

コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2101.20-246、2106.10-219、2106.90-251、2106.90-281、2106.90-282、2106.90-590

【2019年1月から】

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2101.20-246、2106.10-219、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.90-590

表5 加糖調製品 品目別輸入量（2019年）

区分	輸入量 (トン)	前年比 (%)
ミルク調製品	168,719	▲ 6.1
ソルビトール調製品	115,251	▲ 2.4
ココア調製品	99,308	▲ 4.4
調製した豆（加糖あん）	58,478	▲ 3.4
コーヒー調製品	411	11.5
その他調製品	71,989	▲ 9.4
合計	514,156	▲ 5.1

資料：財務省「貿易統計」

3. 異性化糖の移出動向

1月の移出量は前年同月からわずかに減少

2020年1月の異性化糖の移出量は、5万8160トン（前年同月比2.1%減、前月比5.5%減）であった（図11）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図12）。

果糖含有率40%未満 308トン

（前年同月比14.4%減、前月比24.2%減）

同40%以上50%未満 1万5909トン

（同2.6%増、同3.8%減）

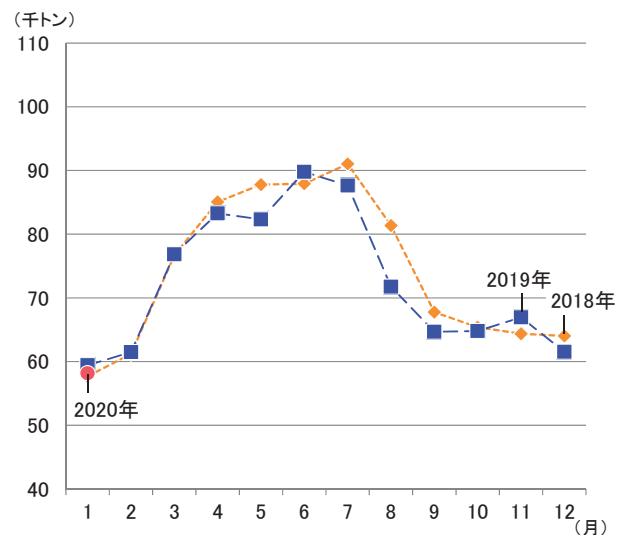
同50%以上60%未満 4万1362トン

（同3.3%減、同5.8%減）

同60%以上 581トン

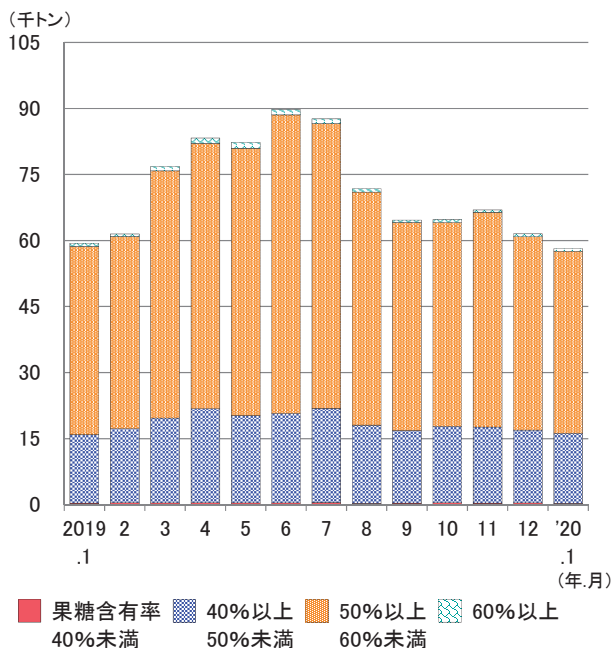
（同25.4%減、同16.2%減）

図11 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図12 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

1月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円

大阪 同187～188円

名古屋 同191円

関門 同191円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり199～202円

大阪 同202円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192～193円

大阪 同192～193円

名古屋 同196円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円

大阪 同187～188円

名古屋 同189円

1月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

1月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で19.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける1月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、191.7円（前年同月差0.2円高、前月差1.9円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は19.0円であった。

同月の地域別^{（注）}の平均小売価格は次の通りであった（表6）。

（注）地域の内訳は次の通りである。以下（同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表6 上白糖の地域別平均小売価格（1月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	199.8	0.0	▲ 0.4
東北	196.1	▲ 5.5	▲ 1.4
関東など	182.3	▲ 1.4	0.6
首都圏	187.8	2.7	7.4
中部	182.8	▲ 0.2	2.3
関西	195.1	1.6	▲ 0.2
中国・四国	201.3	0.3	▲ 2.8
九州・沖縄	195.3	1.4	4.0
全平均	191.7	0.2	1.9

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

1月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で73.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける1月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.7円（前年同月差2.1円高、前月差0.1円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は73.0円であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表7）。

表7 グラニュー糖の地域別平均小売価格（1月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	203.5	0.5	0.0
東北	276.5	0.4	▲ 0.8
関東など	247.3	▲ 1.2	0.0
首都圏	254.3	6.7	0.3
中部	251.4	0.4	1.0
関西	229.9	▲ 0.6	0.3
中国・四国	254.2	8.2	▲ 0.4
九州・沖縄	217.5	0.9	0.1
全平均	243.7	2.1	0.1

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

1月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で41.2円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スー

パーにおける1月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、232.8円（前年同月差3.5円安、前月差1.1円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は41.2円であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表8）。

表8 三温糖の地域別平均小売価格（1月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	234.8	▲ 8.3	12.1
東北	250.6	▲ 8.8	0.9
関東など	235.5	▲ 9.8	▲ 0.3
首都圏	226.1	▲ 6.3	▲ 0.0
中部	229.2	▲ 0.9	▲ 0.3
関西	231.2	▲ 0.4	1.6
中国・四国	249.4	4.8	0.0
九州・沖縄	209.4	1.4	▲ 0.5
全平均	232.8	▲ 3.5	1.1

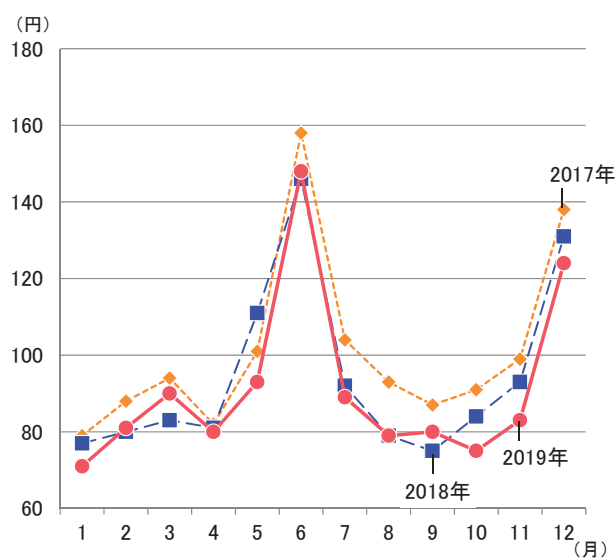
資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

【購入金額および購入量】

12月の砂糖の支出金額は前年同月と比べやや下落

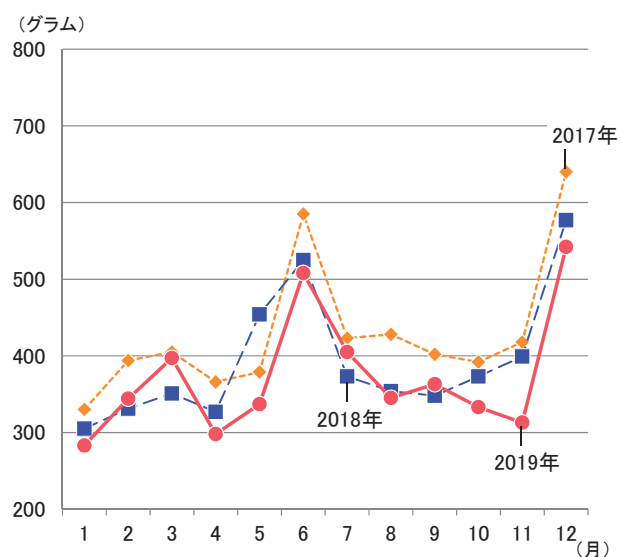
総務省「家計調査」によると、2019年12月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は51、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は124円（前年同月比5.3%安、前月比49.4%高）であった（図13）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、542グラム（同6.1%減、同73.2%増）であった（図14）。

図13 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図14 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」